

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	641	課コード	0503	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	心も身体も健康プラン・食育推進行動計画の策定・推進		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・健康づくり支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成16年度 ~			⑥担当職員数	12人 (換算人数)		0.58人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,982千円 (うち人件費 5,394千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	31103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	心も身体も健康プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民一人ひとりが自らの健康状態を知り、自主的に健康づくりができるよう、生活習慣を改善するためのさまざまな情報の提供や、気軽に相談できる体制の充実を図るとともに、健康づくりの機会として体験型事業を実施し、健康づくりに対する理解や意識の向上に努めます。			事業目的	健康増進・維持に関する基本的な考え方や具体的な方策を明らかにし、健康づくりに対する自主的な取組を推進し、全世代における生活習慣の改善、健康寿命の延伸を目指す。また、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、体験活動等を通じ、食に関する理解を深め、実践できるような食習慣を確立する。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画推進及び目標数値の達成状況等を検討・検証する。 ・「我孫子市健康づくり推進協議会」及び庁内組織である「心も身体も健康プラン推進委員会」を必要に応じて開催する。 ・次期「心も身体も健康プラン」、「食育推進行動計画」、「歯と口腔の健康づくり基本計画」を一体的に策定する。 			当該年度執行計画	前年度の市民アンケートや健康づくり推進協議会、健康づくり推進協議会の部会、心も身体も健康プラン推進委員会を適宜開催し、意見等をもらい反映させ、ハブコメを経て3月に策定を完了させる。 政策：計画書の印刷（500冊）庁内印刷を活用する。					
		当該年度活動結果指標	健康づくり推進協議会、心も身体も健康プラン推進委員会開催回数	単位	回	想定値	5	実績値			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	健康プランに位置づけた目標指標が改善した事業割合		%	56.2	62	
3年後	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	計画に位置づけた目標を達成した事業の割合		%	0	65	
最終(概ね5年後)	計画に位置づける事業の目標を達成する				間接	5年後の計画に位置づけた目標を達成した事業の割合		%	0	70	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		進行管理 健康づくり推進協議会報酬 (14人×3回×3,500円)	147	進行管理 健康づくり推進協議会報酬 (14人×3回×3,500円)	147	進行管理 健康づくり推進協議会報酬 (14人×2回×3,500円)	98	進行管理 健康づくり推進協議会報酬 (14人×2回×3,500円)	98		
		部会等報償費 健康プラン推進委員会(庁内組織) リーフレット印刷	39	部会等報償費 健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	147	部会等報償費 健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	171	部会等報償費 健康プラン推進委員会(庁内組織) 啓発リーフレット印刷	171		
		* 次期計画用市民アンケート通信運搬費 * 次期健康食育計画アンケート集計委託 * アンケート製本印刷 * 返信用封筒印刷	618 1,294 51 29	* 次期健康プラン・食育計画書等印刷 * 消耗品：計画印刷用紙	216 78	* 部会等報償費 * 部会等報償費	39	* 部会等報償費	39		
予算(済)額	合計		2,178	合計		588	合計		308	合計	308
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	2,178		588	308		308	0		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.58		0.58	0.58		0.58	0.58			
	正職員人件費	5,394		5,394	5,394		5,394	5,394			
	嘱託職員報酬額	0		0	0		0	0			
	臨時職員賃金額	0		0	0		0	0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	7,572		5,982	5,702		5,702	5,702				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,524千円/回		1,196.4千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
	病気の原因となる危険因子を予防・改善するための「一次予防」を最も重要な取り組みとして位置付けた「心も身体も健康プラン」、市民が生産を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保が図られるよう策定された「食育推進行動計画」、さらには、歯と口腔の健康づくり推進条例に基づく「歯と口腔の健康づくり基本計画」を一体的に着実に推進していくことは、市民の健康寿命を延伸させるために必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要			
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由>				○要 ○不要			
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>							
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				計画の推進にあたり、条例で位置づけられた「健康づくり推進協議会」において進行管理を行い、事業や目標の、改善を行う。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容		環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし										○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>					
	56.2	62	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)						
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>					
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>					
	1.04	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------